

公式規約

九州フランス菓子コンクール 2026

第1条 — 主催者

本コンクールの主催者：

- 九州日仏学館
- パティスリーイチリュウ

協賛：TV5 MONDE

第2条 — コンクールの目的

本コンクールの目的：

- アマチュア製菓愛好家の創造性を称えること
- 九州の地域食材を広く普及させること

参加者は九州産の食材を少なくとも1種類使用したオリジナルのスイーツタルトを制作してください。

第3条 — 参加資格

参加は無料、定員は最大50名。

以下のすべての条件を満たす方のみ参加可能：

- アマチュアであること
- 製菓のプロでないこと
- 製菓活動による収入を得ていないこと
- 製菓に関する職業資格を持っていないこと
- 九州在住であること

虚偽申告が判明した場合、即刻失格となります。

第4条 — 申込方法

一次選考— オンライン申込

2026年8月31日までに公式フォームに記入・提出してください。

応募書類には以下が必須です：

- 個人情報（氏名・連絡先等）
- 作品名
- コンセプトの説明（最大10行）
- 使用する九州産食材の明記（1種類以上）
- 詳細なレシピ（材料+作り方）

- タルトの写真
- 誓約書
- 規約への同意

不備または規定外の書類は受理されません。

第5条 — 作品の技術的要件

提出するタルトは以下の条件を満たすこと：

- スイーツタルト（甘いタルト）であること
 - 4～5人分
 - 直径：12cm
 - 高さ：最大10cm
 - フィリングは自由（フルーツ、ムース、チョコレート、プラリネ等）
 - 九州産食材を少なくとも1種類使用すること
-

第6条 — 参加者の誓約

応募者は以下を保証するものとします：

- レシピの唯一の考案者であること
- 作品がオリジナルであること
- プロからの助力を一切受けていないこと

不正が発覚した場合は即刻失格となります。

第7条 — コンクールの流れ

本コンクールは2段階で実施されます：

一次— 書類審査

以下の観点から応募書類を審査：

- 独創性
- コンセプト
- レシピの質
- 見た目（写真）

二次— 最終審査

ファイナリストは以下の決勝戦に招待されます：

九州日仏学館 2026年10月17日（時間：14時より）

当日は審査員の前でタルトを披露してください。

第8条 — 評価基準

作品は以下の観点から審査されます：

- 独創性
- 技術的な完成度
- 見た目・ビジュアル表現
- 味・食のクオリティ

第9条 — 審査員

審査員は主催者が指定する専門家で構成されます。審査員の判断は最終決定であり、異議申し立ては認められません。

第10条 — 賞品

- 第1位：
 - パティスリーイチリュウ店舗にて1カ月間のタルト販売
 - パティスリーイチリュウで使える商品券 50,000 円分
- 第2位：
 - 九州日仏学館によるフランス語レッスン1回
 - 九州日仏学館の文化セミナー5回分
 - オリジナルグッズ複数
- 第3位：
 - 製菓レシピ本1冊
 - 九州日仏学館の文化セミナー5回分
- ファイナリスト全員：
 - パティスリーイチリュウ焼き菓子詰め合わせ

第11条 — 知的財産権

グランプリ受賞者は以下に同意するものとします：

- レシピをパティスリーイチリュウに独占的に譲渡すること
- 譲渡の対象には、複製・改変・商品化の権利を含む
- 本譲渡は：
 - 追加報酬なし
 - 1カ月間の販売
 - 日本全国で適用

第12条 — レシピの改変

製造・販売にあたり、レシピは以下の観点から改変される場合があります：

- 変更の内容：食材、製造技術、生産上の都合
- パティスリーイチリュウの約束：作品の精神と意図を尊重する
- 制作者の放棄：制作者は一切の異議申し立てを放棄する

第13条 — 肖像・氏名の使用

参加者は、主催者が広報目的で以下を使用することを許可するものとします（無償）：

- 氏名
- 肖像
- 作品の写真

第14条 — 個人情報の保護

収集した個人情報は以下の目的にのみ使用されます：

- コンクールの運営
- 応募書類の管理

同意なく第三者に提供することはありません。

第15条 — 免責事項

主催者は以下の場合において責任を負いません：

- 申込時の技術的な問題
- 不可抗力によるコンクールの中止または変更

第16条 — 規約への同意

本コンクールへの参加は以下を意味します：

- 本規約への全面的かつ無条件の同意
- 申込フォームを通じた承認

第17条 — スケジュール

- 申込開始：2026年4月25日
- 申込締切：2026年8月31日
- 決勝戦：2026年10月17日

第18条 — 準拠法

本規約は日本の法律に準拠します。